

# かづの微生物農法研究会便り

H20.6.1 Vol.6



稲の葉を

ひっくり返すと

田んぼでみんな生きている。

田植えはなんとか終わり。

海外では穀物不足が深刻な問題となっている、というようなニュースをよく耳にするようになりました。国の政策でコメ作りを制限されていて作りたくても作れないでいる（いわゆる減反）国内の田舎の農村では、正直ちょっとピンと来ない話です。特に今年は減反を確実に実施するようにと、新たに減反する田んぼに対して500億円もの国費がばらまかれました。作らないために費やすお金なぞもったいない！大丈夫か、日本の農業と食卓？なんて思ってしまいます。ともあれ、私たちの田んぼでは予定通り今年も田植えが終了し、美味しい米作りに精をだしています。今度は田んぼに棲む生き物達との共存というか棲み分けもしくは競争、天気とのにらみ合いとなります。田んぼの中の微生物たちが醸し出すミラクルに頼りつつ、自分たちが食べて納得し、皆さんにもさらに美味しく食べてもらえる米作りを心がけます。

## 「微生物農法」って何のこと？

地球上の生き物の世界は微生物が主役

水田の土の中には沢山の種類、膨大な数の微生物が活動しています。私たち人間のお腹では善玉菌と悪玉菌のバランスが崩れると体調が悪くなりますが、イネにとってのお腹を水田土壌、とらえたのが微生物農法です。水田の土も微生物のバランスを整えてやるのがとても重要で、そのバランスが崩れるとイネが病気にかかりやすくなったり、生長が上手くいかなかったりします。有機肥料や堆肥で微生物バランスを良好に保つことで、健康で自ら美味しくなる



写真左が「微生物農法」の田面、右は「アイガモ農法」の田面で。微生物農法の田んぼは、正直にいうとちょっと汚いようにも見えますが、これは藻などの生物が大量に発生しているため。これが田んぼの中の（イネを含めた）生態系を形成し、独特の自然な美味しさをももたす生命のスープになるのです。

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント！



お買い上げいただいた商品についてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをもらえるプレゼント！ お問い合わせはTel.0120-08-2028まで

## TOPICS

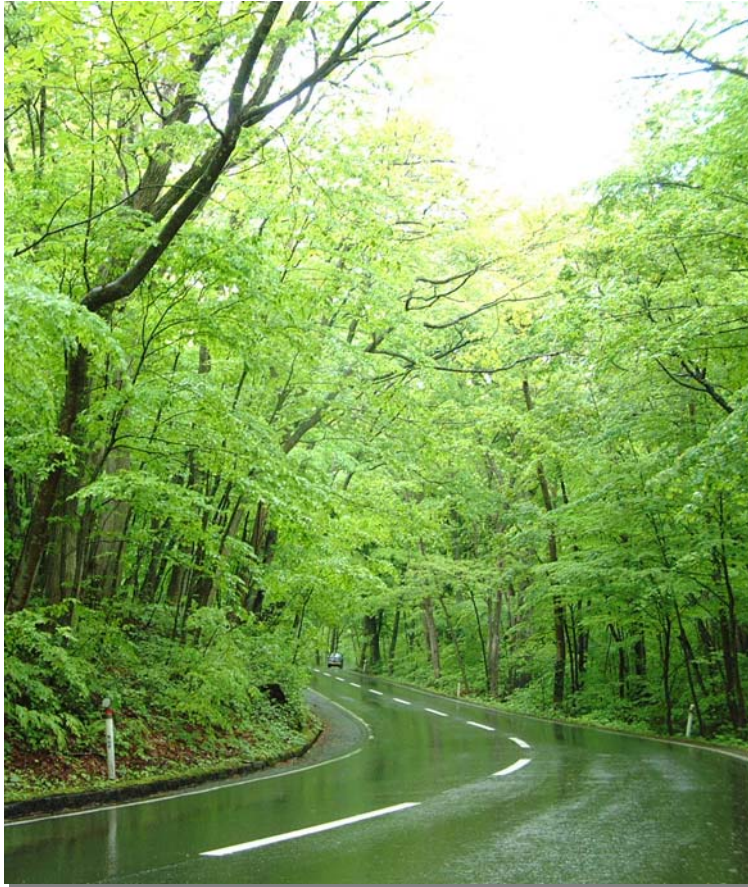
講談社の「日本一おいしい米の秘密」という本で、微生物農法

米あきたこまち『花輪ばやし』が紹介されました。機会があれば見てみてください!!



# 生産地から

例年なら田植え時期と桜の花見適期がゴールデンウィークに同時に訪れてお祭り騒ぎになる当地鹿角地方ですが、今年は桜の開花が10日あまりも早まり、また雪解けも数週間早くなって山菜類も異常に早く採れています。ともあれ、今夏は天皇陛下をお迎えしての植樹祭や洞爺湖サミット時の十和田湖外相会談など、重要なイベントも当地でけっこう行われるとか。黄金歴史街道～鹿角を往く～という観光キャンペーンも実施中です。



十和田湖外輪山の若々しい新緑の色は、6月に最も美しい光景を見せる。季節的には湿りがちな天気が多いが、むしろ霧雨に淡い緑色の光が乱反射して溢れ、その間を抜ける湖畔の道路では、まるで黄緑の光のトンネルを走るようなドライブが出来る。

十和田湖や八幡平、鹿角地域の様々な観光案内がご覧になれます。

(社)十和田八幡平観光物産協会

<http://www.ink.or.jp/~kankou18/>

かつのファンクラブ

<http://www2.city.kazuno.akita.jp/fanclub/index.html>



こちらの秋田美人なモデルはうちの税理士さんです

## 菜々の油

国の政策として進められている田んぼの転作。当地鹿角地方では、転作物のひとつとして「菜の花」を栽培し、地元住民や観光客の目を楽しませています。この「菜の花」の種を採った純国産の高品質菜種油が商品として発売されることになりました。この菜種油「菜々の油」、一般の菜種油には心臓に負担のかかりやすいエルシン酸が多く含まれているのに対し、「菜々の油」に使用している菜の花の品種、キザキノタネにはそのエルシン酸が全く含まれていません。おまけにオリーブなどの含有成分として知られ化粧品などに使われるオレイン酸が多量に含まれており、オリーブ油の代用利用としてもおすすめです。市販のキャノーラ油(菜種油)の原料の多くがカナダ産などの遺伝子組み換え作物であることを考えても、この純国産の「菜々の油」は安心してお使いいただけます。安価なサラダ油のような漂白を一切していないので、臭みもなく琥珀色をしており、揚げ物などにお使いの場合、カスや劣化が少ないので何度も繰り返し使用できます。環境にも健康にも安心してお使いいただける「菜々の油」。いよいよ通信販売を開始いたします。どうぞお試しください！

美味しいお米とりんごのご注文 / お問合せ先は・・・

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3

有限会社 安保金太郎商店

フリーダイヤル 0120-08-2028

WEBショップ <http://umaikome.jp>

e-mail [kintaro@umaikome.jp](mailto:kintaro@umaikome.jp)



六月は山の新緑、田んぼの緑が澄んだ空色にとでも映える。何も無い、しかしこんな景色が常にあるというのが、田舎のいいところ

ぜひ一度  
かつの  
鹿角へ遊びに  
来てみて下さい!

有限会社 安保金太郎商店  
かつの微生物農法研究会  
事務局

文・写真: 安保 大輔

この「微生物農法研究会便り」のバックナンバーや、毎月発送などのご希望がありましたらご一報下さい。感想もお待ちしています。